

**製品名: PAK2 (7H3) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03571**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	腹水

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 58 kDa; Observed MW: 61 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PAK2
別名	PAK2; Serine/threonine-protein kinase PAK 2; Gamma-PAK; PAK65; S6/H4 kinase; p21-activated kinase 2; PAK-2; p58
遺伝子 ID	5062
SwissProt ID	Q13177
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

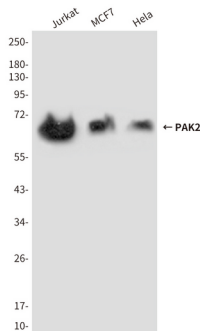
活性化されたキナーゼは様々な標的に作用します。リボソームタンパク質 S6、ヒストン H4、ミエリン塩基性タンパク質をリン酸化

します。全長 PAK2 は細胞の生存と増殖を刺激します。このプロセスは、少なくとも部分的には、アポトーシス促進性 BAD のリン酸化と阻害によって媒介されます。

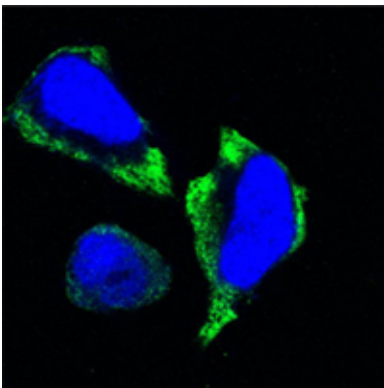
## 研究分野

細胞生物学

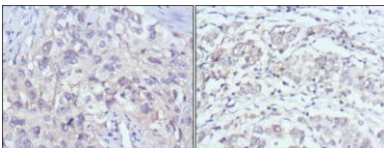
## 画像データ



PAK2 抗体を使用した、Jurkat、MCF-7、および HeLa 溶解物中の PAK2 のウェスタンブロット分析。



PAK2 抗体（緑）を用いた HeLa 細胞中の PAK2 (7H3) の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



PAK2 抗体と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺がん (左) および胃がん (右) の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。